

参考文献・URL リスト

2022年11月5日(金)に第22回 東京学芸大学 ホームカミングデーで行った講演「わかりやすければよいのだろうか? — 学問の面白さを伝えるということ —」にて、発表した内容の参考文献を知りたいというお声が複数寄せられましたので、こちらにリストアップします。今回の講演では触れませんでした。他にも教員研修などで講演した際の参考文献や資料も合わせて掲載します。お役に立てば幸いです。

2022年11月8日

小林晋平

- ・ 小林晋平 YouTube チャンネル PHYSIS Entertainment
<https://www.youtube.com/channel/UCa37Dyi3-6TmkD3nzG2plGw>
- ・ Eテレ「思考ガチャ!」 <https://www.nhk.jp/p/ts/QJ4W13PP7V/>
- ・ 小林晋平「万人に効果的な教授法はあり得るか」
『工学教育』, 第61巻第3号 pp.80-84 (2013年5月)
- ・ 小林晋平「物理教育の新しい工夫 方法より大事なこと: 泥臭い物理教育のやり方」
『パリティ』 2015年11月号, p72, 丸善出版
- ・ 武田砂鉄『わかりやすさの罪』(朝日新聞出版, 2020)
- ・ 小林晋平『ブラックホールと時空の方程式 15歳からの一般相対論』(森北出版, 2018)
- ・ 小林晋平『宇宙の見え方が変わる物理学入門』(ベレ出版, 2021)
- ・ 森山徹『ダンゴムシに心はあるのか 新しい心の科学』(PHPサイエンス・ワールド新書, 2011)
- ・ 木村暁『細胞建築学入門—細胞を理解するための新視点』(工学社, 2019)
- ・ 池谷裕二『進化しすぎた脳—中高生と語る「大脳生理学」の最前線』(講談社, 2007)
- ・ 郡司ペギオ幸夫『群れは意識を持つ』(PHPサイエンス・ワールド新書, 2013)
- ・ 傳田光洋『驚きの皮膚』(講談社, 2015)
- ・ 福岡伸一『動的平衡』(木楽舎, 2009)
- ・ 福岡伸一『生物と無生物のあいだ』(講談社現代新書, 2007)
- ・ 田口善弘『生命はデジタルでできている』(講談社ブルーバックス, 2020)
- ・ 田中修『植物はすごい 七不思議篇』(中公新書, 2015)
- ・ E. シュレディンガー著, 岡小天・鎮目恭夫訳『生命とはなにか』(岩波書店, 2008)
- ・ D. サダヴァ著, 石崎泰樹ほか訳『カラー図解 アメリカ版 新・大学生物学の教科書 第1巻 細胞生物学』(講談社ブルーバックス, 2021)
- ・ 稲田豊史『映画を早送りで見ると人たちはファスト映画・ネタバレ-コンテンツ消費の

現在形』(光文社新書, 2021)

- ・ 神代健彦『「生存競争」教育への反抗』(集英社新書, 2020)
- ・ クロード・レヴィ=ストロース著, 大橋保夫訳『野生の思考』(みすず書房, 1976)
- ・ レジー『ファスト教養 10分で答えが欲しい人たち』(集英社新書, 2022)
- ・ アルベルト・マルティネス
『科学神話の虚実 ニュートンのりんご, アインシュタインの神』(青土社, 2015)
- ・ マリオ・リヴィオ『偉大なる失敗』(早川書房, 2015)
- ・ 光岡英稔『身体の声 武術から知る古の記憶』(PHP 研究所, 2019)
- ・ 藤田一照・光岡英稔『退歩のススメ:失われた身体観を取り戻す』(晶文社, 2017)
- ・ 宇沢弘文『社会的共通資本』(岩波新書, 2000)
- ・ 細川英雄『自分の〈ことば〉をつくる』(ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2021)
- ・ 小沢有作「昭和教育史と私」
(小沢有作先生退官記念講義 於東京都立大学, 1996年3月16日)
http://www16.plala.or.jp/negibouzu2010/the_last_lecture.html
- ・ 湯川秀樹・梅棹忠夫『人間にとって科学とは何か』(中公クラシックス, 2012)
- ・ 宮本常一『忘れられた日本人』(岩波文庫, 1984)
- ・ 宮野公樹『問いの立て方』(ちくま新書)(筑摩書房, 2021)
- ・ 京都大学学際融合教育研究推進センター <http://www.cpier.kyoto-u.ac.jp/>
- ・ 京都大学学際融合教育研究推進センター編「といとうとい 第0号」(ユニオン・エー, 2021)
- ・ 郡司ペギオ幸夫『天然知能』(講談社選書メチエ)(講談社, 2019)
- ・ 江沢洋ほか『窮理』第1号(窮理舎, 2015)
- ・ 内田樹『複雑化の教育論』(東洋館出版社, 2022)

そのほかの関連文献・参考資料など

- ・ 森田真生『数学する身体』(新潮社, 2015)
- ・ 森田真生『計算する生命』(新潮社, 2021)
- ・ 森田真生『僕たちはどう生きるか 言葉と思考のエコロジカルな転回』(集英社, 2021)
- ・ 佐々木正人『アフォーダンス入門』(講談社, 2008)
- ・ 船曳建夫『「日本人論」再考』(講談社, 2010)
- ・ 斎藤兆史『英語達人列伝—あっぱれ、日本人の英語』(中公新書, 2000)
- ・ 今井むつみ『学びとは何か -<探求人>になるために』(岩波書店, 2016)
- ・ 長山靖生『偽史冒険世界』(筑摩書房, 1996)
- ・ 伊藤亜紗『目の見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社, 2015)

- ・ 松浦壮『宇宙を動かす力は何か 日常から観る物理の話』（新潮社，2015）
- ・ 松浦壮『時間とはなんだろう 最新物理学で探る「時」の正体』（講談社，2017）
- ・ 松浦壮『量子とはなんだろう 宇宙を支配する究極のしくみ』（講談社，2020）
- ・ 多田将『すごい実験 ― 高校生にもわかる素粒子物理の最前線』（イースト・プレス，2011）
- ・ 多田将『ニュートリノ もっとも身近で、もっとも謎の物質』（イースト・プレス，2016）
- ・ 吉田伸夫『宇宙に果てはあるか』（新潮選書，2007）
- ・ 吉田伸夫『素粒子論はなぜわかりにくいのか』（技術評論社，2013）
- ・ 吉田伸夫『宇宙に「終わり」はあるのか 最新宇宙論が描く、誕生から「10の100乗年」後まで』（講談社，2017）
- ・ Hartle and Hawking, “Wave function of the Universe”, Physical Review D28 (1983) 2960
- ・ S.W.ホーキング『ホーキング、宇宙を語る―ビッグバンからブラックホールまで』（ハヤカワ文庫 NF, 1995）
- ・ 松岡正剛『遊学』1, 2（中公文庫，2003）
- ・ 松岡正剛『空海の夢』（春秋社，2005）
- ・ 松岡正剛, ドミニク・チェン『謎床 思考が発酵する編集術』（晶文社，2017）
- ・ 渡邊淳司, 伊藤亜紗, ドミニク・チェンほか
『情報環世界―身体とAIの間であそぶガイドブック』（NTT 出版，2019）
- ・ 森清『大拙と幾多郎』（岩波現代文庫，2011）
- ・ 小川さやか『チョンキンマンションのボスは知っている アングラ経済の人類学』（春秋社，2019）
- ・ 斎藤幸平『人新世の「資本論」』（集英社新書，2020）
- ・ 竹下隆一郎『SDGs がひらくビジネス新時代』（ちくま新書）（筑摩書房，2021）
- ・ 荻谷剛彦『コロナ後の教育へ-オックスフォードからの提唱』（中公新書ラクレ，2020）
- ・ 原泰久『キングダム』（講談社，現在 64 巻まで発刊中）
- ・ 磯野真穂『他者と生きる リスク・病い・死をめぐる人類学』（集英社，2022）
- ・ 宮野真生子・磯野真穂『急に具合が悪くなる』（晶文社，2019）
- ・ イヴァン・イリイチ『コンヴィヴィアリティのための道具』（ちくま学芸文庫）（筑摩書房 2015）
- ・ パウロ・フレイレ著, 三砂ちづる『被抑圧者の教育学 50 周年記念版』（亜紀書房，2018）
- ・ 大栗博司『重力とは何か アインシュタインから超弦理論へ、宇宙の謎に迫る』（幻冬舎新書，2012）
- ・ 大栗博司『大栗先生の超弦理論入門』（講談社，2013）
- ・ 大栗博司『強い力と弱い力 ヒッグス粒子が宇宙にかけた魔法を解く』（幻冬舎新書，2013）
- ・ 大栗博司『数学の言葉で世界を見たら 父から娘に贈る数学』（幻冬舎，2015）

- ・ 大栗博司『探究する精神 職業としての基礎科学』（幻冬舎新書, 2021）
 - ・ 霜田光一『歴史をかえた物理実験』（新装復刊パリティブックス, 2017）
 - ・ 朝永振一郎『鏡の中の物理学』（講談社学術文庫, 1976）
 - ・ ユクスキュル, クリサート著, 日高敏隆訳『生物から見た世界』（岩波文庫, 2005）
 - ・ A.アインシュタイン著, 内山龍雄訳『相対性理論』（岩波文庫, 1988）
 - ・ 南直哉『善の根拠』（講談社現代新書）（講談社, 2014）
 - ・ 南直哉『超越と実存』（新潮社, 2018）
 - ・ C.ロヴェッリ著, 富永 星訳『世界は「関係」でできている』（NHK 出版, 2021）
 - ・ C.ロヴェッリ著, 富永 星訳『時間は存在しない』（NHK 出版, 2019）
 - ・ 中沢新一『レンマ学』（講談社, 2019）
 - ・ 中沢新一『対称性人類学 カイエ・ソバージュ 5』（講談社選書メチエ, 2004）
 - ・ 中沢新一『熊楠の星の時間』（講談社選書メチエ, 2016）
 - ・ 中島岳志『思いがけず利他』（ミシマ社, 2021）
 - ・ 市井三郎『歴史の進歩とはなにか』（岩波書店, 1971）
 - ・ 網野善彦『日本の歴史をよみなおす』（ちくま学芸文庫, 2005）
 - ・ 白石あづさ『世界が驚くニッポンのお坊さん 佐々井秀嶺、インドに笑う』（文藝春秋, 2019）
 - ・ B.R.アンベードカル著, 山際 素男訳『ブッダとそのダンマ』（光文社, 2004）
 - ・ ダナンジャイ・キール著, 山際素男訳『アンベードカルの生涯』（光文社, 2005）
 - ・ ルトガー・ブレグマン著, 野中香方子訳『Humankind 希望の歴史 人類が善き未来をつくるための18章』上・下（文藝春秋, 2021）
 - ・ ハンス・ロスリングほか著, 上杉周作ほか訳『FACTFULNESS 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』（日経 BP, 2019）
 - ・ マルクス・アウレーリウス『自省録』（岩波文庫）（岩波書店, 1956）
 - ・ 新井紀子『AI vs. 教科書の読めない子どもたち』（東洋経済新報社, 2018）
 - ・ 成毛眞『2040年の未来予測』（日経 BP, 2021）
 - ・ 初田哲男ほか著, 柴藤亮介編『役に立たない」研究の未来』（柏書房, 2021）
 - ・ 成田悠輔『22世紀の民主主義 選挙はアルゴリズムになり、政治家はネコになる』（SB新書, 2022）
-
- ・ 信濃毎日新聞科学コラム 知・究・学「時空の旅へ ようこそ」（全20回執筆）
 - 第20回 2018年12月17日付朝刊
 - 第19回 2018年12月10日付朝刊
 - 第18回 2018年12月3日付朝刊
 - 第17回 2018年11月19日付朝刊
 - 第16回 2018年11月5日付朝刊

- 第 15 回 2018 年 10 月 29 日付朝刊
- 第 14 回 2018 年 10 月 22 日付朝刊
- 第 13 回 2018 年 10 月 15 日付朝刊
- 第 12 回 2018 年 10 月 8 日付朝刊
- 第 11 回 2018 年 10 月 1 日付朝刊
- 第 10 回 2018 年 9 月 24 日付朝刊
- 第 9 回 2018 年 9 月 17 日付朝刊
- 第 8 回 2018 年 9 月 3 日付朝刊
- 第 7 回 2018 年 8 月 27 日付朝刊
- 第 6 回 2018 年 8 月 20 日付朝刊
- 第 5 回 2018 年 8 月 6 日付朝刊
- 第 4 回 2018 年 7 月 30 日付朝刊
- 第 3 回 2018 年 7 月 23 日付朝刊
- 第 2 回 2018 年 7 月 16 日付朝刊
- 第 1 回 2018 年 7 月 2 日付朝刊

・夜間飛行メールマガジン <https://yakan-hiko.com/>

小林晋平×福岡要対談

- その 21 「お前は今、本当に生きていけると言えるのか？」 2017 年 3 月 6 日配信
- その 20 「天才は「前提を疑い」、そして「物理を超える」」 2017 年 2 月 27 日配信
- その 19 「世界はどんどん「乾いて」いつているんじゃないか」 2017 年 2 月 13 日配信
- その 18 「上手に殺されると、世界はぐるっと変わる」 2017 年 1 月 23 日配信
- その 17 「海を見に行く自由」 2017 年 1 月 9 日配信
- その 16 「「縁」という瞬間の科学」 2016 年 12 月 19 日配信
- その 15 「光源は常に二つある」 2016 年 12 月 5 日配信
- その 14 「生き方としての「科学」を実現するために」 2016 年 11 月 21 日配信
- その 13 「みんな「影」を「自分」だと思っている」 2016 年 11 月 7 日配信
- その 12 「「適応」なのか「妥協」なのか、それとも「逃げているだけ」なのか」
2016 年 10 月 17 日配信
- その 11 「科学に癒しの機能はあるか」 2016 年 10 月 3 日配信
- その 10 「揺らぐず、ずっとそこにあったもの」 2016 年 9 月 19 日配信
- その 9 「言葉には「質量」がある」 2016 年 9 月 5 日配信
- その 8 「世界は本当に美しいのだろうか」 2016 年 8 月 15 日配信
(この回は以下の URL で公開されています
<http://pret.yakan-hiko.com/2016/08/18/world-is-beautiful/>)
- その 7 「「問い」が社会の凝りをほぐす」 2016 年 8 月 1 日配信

その6「同じ歩速で寄り添ってくれる人」2016年7月18日配信

その5「「失敗」を「謳歌」する」2016年7月4日配信

その4「自分が「有限」であることを自覚するとき」2016年6月20日配信

その3「勉強とは、何かに向かう姿勢のこと」2016年6月6日配信

その2「修得してどうなりたいのか」2016年5月16日配信

その1「『止まるという積極的行動』を取ればいい」2016年5月2日配信

武術研究家・甲野善紀先生との対談「『待ったなし』の時代の教育を考える・その3」
2016年4月18日配信

武術研究家・甲野善紀先生との対談「『待ったなし』の時代の教育を考える・その2」
2016年3月7日配信

武術研究家・甲野善紀先生との対談「『待ったなし』の時代の教育を考える・その1」
2016年2月22日配信